

よいことのために  
 手を取りあおう

**2025-2026**  
**No.1822**  
**2026.3.12**

会長：茂木清七 幹事：小澤博之  
 会員数：49(内3名特別会員) 会場出席：32 欠席：17  
 出席率：69.57% 前回出席率：76.09%  
 点鐘：茂木清七 会長 司会：小林若葉 S A A  
 ロータリーソング：日も風も星も (ソングリーダー：永井 郁)  
 例会場：ホテルペラヴィータ 3F 12:30～

ロータリーを語ろう

## お客様



高崎健康福祉大学高崎高等学校 野球部部長 生方啓介 様  
 群馬県立沼田高等学校 教諭 原澤裕一 様

お城の入場料を 500 円として、30 万人ですと年間 1 億 5 千万円になり、お土産やグッズなど 1 人あたり 1,500 円落とすと仮定すれば年間 4 億 5 千万円が入ります。10 年あれば沼田城が出来る計算になります。これはあくまで仮定の話ですが、夢でなく現実的な想像も出来なくはない状況だと思います。沼田城が夢で終わるか現実になるかこれから楽しみです。

以上で、会長の時間とさせていただきます。

## 会長の時間

茂木清七 会長



皆さん、こんにちは。

2月15日、利根沼田文化会館で沼田城発掘調査報告がありました。私も参加して来ましたが、テニスコートだったところに石垣があり、そこは三階櫓があったところの石垣だそうです。本丸はやはり公園内の英霊殿のところらしいとのこと。まずは公園内の通路のところを発掘してから、熊の檻だったところを発掘したそうです。沼田城は3度建て替えされた跡があったそうです。『沼田城をつくる会』の昨年度の総会で、現沼田市長の星野稔氏が沼田城をつくる会の最高顧問に就任されて、今年の1月に前橋市で勉強会があった際の市長挨拶で沼田城建設に向けて前向きに検討すると言われたそうです。

沼田市には玉原高原や吹割の滝などありますが、もし沼田城が出来ればかなりの集客が見込まれると思います。お隣の道の駅『川場田園プラザ』には年間 200 万人のお客様がみえているそうです。又、玉原高原にも年間 60 万人、ロックハート城には 30 万人、原田農園さんには 50 万人の観光客が訪れているそうです。これら観光客の 1 割が沼田城に来て下されば 30 万人という計算になります。

お城の建設には、天守閣に約 15 億円、周りの整備に約 15 億円、トータル約 30 億円かかるそうです。例えば、

## 幹事報告

小澤博之 幹事



- ①クラブの40周年記念について、4月11日の前夜祭、12日の記念式典と祝賀会の出席確認を回覧しますのでご記入願います。
- ②来週19日は休会の予定でしたが、40周年記念式典について確認のための例会を開催します。

## 出席報告

須田恭弘 委員



茂木 清七・小澤 博之

本日は高崎健康福祉大学高崎高等学校硬式野球部 部長 生方啓介様に、お忙しい中卓話をありがとうございます。甲子園常連となったお話楽しみにしております。

戸谷 直樹

高崎健康福祉大学高崎高校硬式野球部 部長の生方啓介様、ご来訪ありがとうございます。卓話楽しみにしております。昨日、第78回春季関東地区大会群馬県予選の組み合わせが決定しました。健大高崎高校は、初戦で我が母校 渋川高校と対戦です。4月12日、クラブの40周年記念式典の日に「オリエントスタジアムぬまた」で9時半プレイボールです。私にとって素敵なご縁を感じます。当日は、午前中応援をしてみたいと思いますのでご容赦下さい。

高橋 昭紀

3月6日に開催された第44回JSBA全日本スノーボード選手権大会スノーボードクロスの部において、長男洸希が4位入賞できた事を記念してボックスイン致します。

石坂 一男

健大高崎野球部部長の生方啓介様、お忙しい中ようこそおいで下さいました。小・中・高校時代、また健大高崎野球部のコーチ（教諭）として着任され、当時球場で偶然お会いして懐かしさと、出来たばかりの野球部を青柳監督・生方コーチで10年先の甲子園出場を目指すという決意が今や甲子園常連校。これからも益々の野球の発展とご活躍を祈っております。

小曾根 一雄

先日は妻の誕生日に素敵な花をありがとうございます。ありがとうございました。

古池 好幸

健大高崎野球部部長の生方様、本日は春大も始まるお忙しい中、来訪頂きありがとうございます。生方様と同級生の原澤先生には、息子が沼高で大変お世話になっております。

小林 信広

本日の講師の生方様は、私の妻が沼田中学校教師の時の教え子との事です。覚えていたら嬉しいとの事でボックスインします。

石田 宇平

沼田ユネスコ協会書き損じはがきキャンペーンに協力ありがとうございました。

SAA連名（北野浩一郎・本山佳宏・植村仁・小林若葉）

本日はSAA担当卓話です。戸谷さんのご紹介で健大高崎野球部部長の生方様にご来訪頂きました。SAA一同、年度当初よりこの日を心待ちにしておりました！ コーチングについてのお話、どうぞ宜しくお願い致します。



紹介者 戸谷直樹委員

生方様は沼田市出身で、群馬県立沼田高等学校、東北福祉大学で野球を続けられ、大学卒業後より高崎健康福祉大学高崎高校にて指導に携わっておられます。現在は野球部部長として、監督を支えながらチームづくりの中心を担い、選手の育成と人間教育に尽力されております。

そして2024年の選抜高等学校野球大会では、同校を春夏通じて初となる甲子園優勝へと導かれ、高校野球界でも大きな注目を集めておられます。



高崎健康福祉大学高崎高等学校  
野球部部長 生方啓介様

### 『22年間で気づいたこと コーチングについて』

当校の野球部は創部して25年になります。勝ちを求めながら将来につなげる、しかし勝利至上主義だけでは継続しません。

時代と共に指導方法も変化し、一方的な指導は捨てて、生徒の行動に対する指導、メンタルトレーニングへと変わりました。生徒の考え方が変わらなければ行動は変わりません。またデータを活用した理論的な指導も行っています。選手の力を引き出すためのサポートは、一人一人個別に、心理面、身体面それぞれの専門家にてもらいます。大事なのは、選手の可能性を絶対に否定しない。高校生はまだまだ発展途上の身体ですので、この後も変わっていきます。

- ・チームビルディング：個が輝く配置とビジョン（適材適所）・ビジョンの共有（目標設定）
- ・「ルール」ではなく「モラル」で動く組織：ごまかさない・嘘をつかない・細部にこだわって取り組む
- ・目指すべき姿：自立型集団（考えて動ける・誇りと自信・強さ）

これらのことが「未来へつなぐ」ことになり、勝ちを求めながら将来につなげることになると思います。

